

遠い遠い空の向こうで  
僕らの未来が笑う  
いつかたどり着けたなら  
抱きしめてくれるかな

ビルが描いた歪な空に  
クラクションの遠吠え聞いて  
うだる暑さに溶けぬよう  
君の肩を抱く

茜色の夕暮れが  
交差点をステージに変えた  
あの夏の僕らといえば  
ロマンチストのピエロだったんだ

アスファルトに耳をあてて  
この星の歌を聴いてみる  
もし あの日に戻れたら  
もっと君を愛せるさ

砂漠の国の争い事を  
朝まで語り合ったね  
テーブル越しの約束は  
今もそのままさ

大切だった人の名前さえ  
思い出せなくなるほど  
あの夏の僕らといえば  
きっと 愚か過ぎるペンギンだったんだ

## 真夏のペンギン

遠い遠い空の向こうで  
僕らの未来が笑う  
いつかたどり着けたなら  
抱きしめてくれるかな

アスファルトに耳をあてて  
この星の歌を聴いてみる  
もし あの日に戻れたら  
もっと君を愛せるさ